

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 フォレストア島海			電話番号	0184-58-2888				
所在地	秋田県由利本荘市島海町猿倉字奥山前8番地45			FAX番号	0184-58-2333				
設立年月日	平成8年2月20日			HPアドレス	http://foresta-chokai.com/				
2 資本金	215,000千円	市出資金	120,000千円	市出資割合	55.8 %				
3 事業内容	1. 秋田県営島海観光宿泊センターの管理運営(フォレストア島海) 2. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(平成30年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	51,166	45,998	37,041		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	216,446	206,380	209,828
	負債	29,846	30,409	34,174		(内市からの補助金・指定管理料)	0	20,000	13,900
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 7,546	△ 4,362	△ 25,161
	純資産	21,320	15,589	2,867		当期純利益	△ 8,609	△ 5,731	△ 12,722
	利益剰余金	△ 193,680	△ 199,411	△ 212,133		減価償却前当期利益	△ 7,412	△ 5,103	△ 12,473
5 役職員の状況(平成30年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		8 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		19 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成30年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	0	20,000	13,900	第三セクター運営費補助金					
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小 計	0	20,000	13,900						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小 計	0	0	0						
合 計	0	20,000	13,900						
【参考】指定管理料(税込)									
	0	0	0						
(2) その他(平成30年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合 計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第23期決算報告書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 3 期)

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

株式会社 フォレスタ鳥海

由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前 8 番地 4 5

電話 0 1 8 4 - 5 8 - 2 8 8 8

報告第1号

第23期事業報告書

(自平成29年4月1日～至平成30年3月31日)

営業の経過

県内経済の概況は、全体として持ち直しつつあるとの判断がされる中での事業となりました。

当期総売上192,832千円、当期損益－12,722千円、四半期別比較は下記の通りです。

売上比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
28年度	38,507	63,793	54,652	27,678	184,630
29年度	43,347	74,142	50,183	25,160	192,832
比 較	4,840	10,349	－4,469	－2,518	8,202

損益比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
28年度	－9,577	8,040	－7,589	3,397	－5,729
29年度	－8,186	11,727	3,104	－19,367	－12,722
比 較	1,391	3,687	10,693	－22,764	－6,993

宿泊者数比較 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
28年度	2,235	3,930	3,540	1,916	11,621
29年度	2,618	5,060	3,086	1,592	12,356
比 較	383	1,130	－454	－324	735

第1四半期においては、総売上43,347千円、前年比4,840千円増。宿泊利用者数2,618名、前年比383名増。損益－8,186千円、前年比1,391千円増となり一昨年の売上収益を回復することが出来ませんでした。地域別宿泊状況は、県内利用869名（前年比188名減）、県外利用1,749名（前年比571名増）となり、県外利用においてはネットからの入込の回復とツアー送客が堅調だったこともあり回復基調となりましたが、県内利用においては宿泊宴会の減等により利用減となりました（宴会売上は前年比12%増）。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比14%減、レストラン利用者数で12%増となっております。 販売管理費

においては前年比2,608千円増となっておりその内、配管の腐食による漏水事故修繕に掛かった経費約100万円が含まれております。なお6月19日には、第22期定時株主総会を開催しております。また5月には由利本荘市のトップセールスご支援もありタイ王国より初めてのツアー送客がありました。

第2四半期においては、総売上74,142千円、前年比10,349千円増。宿泊利用者数5,060名、前年比1,130名増。損益11,727千円、前年比3,687千円増の結果となり売上と宿泊利用者数は一昨年とほぼ同数となりました。地域別宿泊利用状況は県内利用1003名（前年比49名増）、県外利用4,057名（前年比1,081名増）で推移しております。当四半期においてはイベント等に恵まれたことと（ねんりんピック等で313名宿泊利用）、夏祭りのエージェント送客も堅調だったことから宿泊利用が回復基調となりました。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比15%減、レストラン利用者数で10%減となっております。販売管理費においては前年比3,806千円増となっており主な増の内訳は支払手数料・販売促進費・燃料費・水道光熱費の増があげられます。

第3四半期においては、総売上50,183千円、前年比4,469千円減。宿泊利用者数3,086名、前年比454名減。損益においては由利本荘市より施設運営の為の資金1,390万円支援していただき3,104千円、前年比10,693千円増の結果となりました。地域別宿泊状況は県内利用1,252名（前年比168名増）、県外利用1,834名（前年比622名減）となっております。県外宿泊利用の大幅な減の大きな要因は、前年好調だった関東方面からのクラブツーリズム4連泊プランの送客が85%減となったことです。前年売上が伸びなかった宴会売上においては前年比25%増（278万増）となりました。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比28%減、レストラン利用者数で13%減となっております。販売管理費においては燃料費・水道光熱費の増により前年比984千円増となりました。なお、11月21日には開業20周年食事会を開催し、83名の方々に参加していただいております。また、当四半期においては秋田県のご支援により消防設備を中心に大規模改修を行っております。

第4四半期においては、総売上25,160千円、前年比2,518千円減。宿泊利用者数1,592名、前年比324名減。損益においては-19,367千円、前年比22,764千円減となりました。地域別宿泊利用状況は県内利用992名（前年比20名増）、県外利用600名（前年比344名減）となり、当四半期においても連泊プランの不振と豪雪等も影響し宿泊利用者数を大きく落とす結果となりました。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比9%増、レストラン利用者数で7%増となっております。販売管理費においては、前年比836千円増となっており、主要

因として燃料代・水道光熱費の増があげられます。

当期総売上 192,832 千円、前年比 8,202 千円増。売上原価 55,216 千円、前年比 2,122 千円増。販売管理費 165,831 千円、前年比 8,234 千円増。当期損益 -12,722 千円、前年比 6,993 千円減。宿泊利用者数 12,356 名、前年比 735 名増（内、県内利用 49 名増、県外利用 686 名増）の結果となり、経年劣化による施設の修繕費も掛かり増しとなっており、前期に続き大きな減益となりました。

当期において、上半期のエージェント送客は堅調でしたが下半期が振るわず、宿泊利用を大きく伸ばすことが出来ませんでした。また、県内宿泊利用も低水準だったことも宿泊利用を伸ばせなかった大きな要因です。なお、前期の課題だったネット関連からの予約は一昨年並みに戻しております。

来期においては、7 月にグランドオープンする鳥海山木のおもちゃ美術館と連携を図り、日帰り・宿泊利用の促進に努める所存です。また、引き続きネットエージェントも含め販売促進に努め、県内宿泊利用を促進させるための企業訪問等を強化して参ります。また、インバウンドにつきましては台湾を中心にタイ王国・韓国への誘致を進める所存です。今後においても由利本荘市並びに秋田県、関係諸機関と連携をとりながら事業を進めて参りますので、役員の皆様、株主の皆様、行政諸機関にはさらなるご指導ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

貸 借 対 照 表

平成30年 3月31日 現在

株式会社 フォレスト鳥海

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	36,080,921	【流動負債】	34,173,751
現 金 ・ 預 金 合 計	23,163,768	買 掛 金	2,695,011
売 掛 金	1,832,640	未 払 金	27,522,240
商 品	5,916,217	預 り 金	999,400
貯 蔵 品	4,202,618	未 払 法 人 税 等	926,200
前 払 費 用	247,320	未 払 消 費 税	2,030,900
未 収 入 金	643,907	負 債 の 部 合 計	34,173,751
立 替 金	74,451	純 資 産 の 部	
【固定資産】	960,296	【株主資本】	2,867,466
【有形固定資産】	128,036	資 本 金	215,000,000
建 物	2,318,300	利 益 剰 余 金	-212,132,534
建 物 附 属 設 備	321,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	-212,132,534
構 築 物	1,839,056	繰 越 利 益 剰 余 金	-212,132,534
車 両 運 搬 具	26,267,619	(うち当期純損失金額)	12,721,789
工 具 器 具 備 品	9,854,963		
減 価 償 却 累 計 額	-40,472,902		
【無形固定資産】	728,000		
電 話 加 入 権	728,000		
【投資その他の資産】	104,260		
保 証 金	50,000		
預 託 金	54,260	純 資 産 の 部 合 計	2,867,466
資 産 の 部 合 計	37,041,217	負 債 及 び 純 資 産 合 計	37,041,217

損 益 計 算 書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

株式会社 フォレスト島海

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	192,832,779	
売 上 高 合 計		192,832,779
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	6,630,013	
当 期 商 品 仕 入 高	54,502,125	
合 計	61,132,138	
期 末 商 品 棚 卸 高	5,916,217	
売 上 原 価		55,215,921
売 上 総 利 益 金 額		137,616,858
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		165,831,306
営 業 損 失 金 額		28,214,448
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	3,093,891	
営 業 外 収 益 合 計		3,094,891
【営業外費用】		
雑 損 失	41,732	
営 業 外 費 用 合 計		41,732
経 常 損 失 金 額		25,161,289
【特別利益】		
国 庫 補 助 金 等 収 入	13,900,000	
特 別 利 益 合 計		13,900,000
税引前当期純損失金額		11,261,289
法 人 税 及 び 住 民 税		1,460,500
当 期 純 損 失 金 額		12,721,789

議案第2号

平成30年度営業計画（案）

販促・宣伝計画は、別紙のとおり。
売上目標額は別紙のとおり。

営業展開

5月連休以降7月中旬までの期間は、宴会プランの販売とエージェント誘致、菜の花畑の見学を売りにした、団体客、新規の個人客等の誘客とリピーターの増員を目指し、販促を進めます。又、桑の木台湿原の開放に伴い、シャトルバスの運行計画もあり、当ホテルへの誘客促進を図ります。

7月下旬より8月にかけては、夏休み中の高校の合宿、県内の夏祭りへのエージェント誘致を図ります。個人客に向けてはホームページ等で周辺観光情報の発信を進め、夏休み家族旅行等の誘客と自然散策客等の獲得に努めます。

9月10月につきましては、秋の行楽向けの宴会プランの販促に努めて参ります。

また、由利本荘アリーナのオープンに伴いオープンイベントを初めとして、アリーナ利用客の宿泊利用に繋げて参ります。

11月12月の忘年会プランにつきましては、優待券と共に販促に努めます。優待券に関しましては価格の設定の見直し等も含め、利用率を上げるよう努力いたします。冬期については、個人客につきましては、平日限定連泊プランの販売につとめ、同プランの販促範囲を旧本荘市まで広げます。

本年度のエージェント予約に関しましては、6月～10月の間に昨年と同等のツアー設定の予約を戴いております。その1本でも1人でも多く催行していただけるよう情報・企画の発信に努めて参ります。

開業より21年、いままでにご来館いただきましたお客様を大切にしながらも、皆様からご満足いただけるホテル、行ってみたいホテルと評価いただけるよう努力し、一人一人のお客様を大切にすることにより、皆様が気持ち良くフォレストを出発してくださいますよう努めて参ります。

お客様の満足度が、そのまま評価につながると信じております。以上の事を踏まえまして、平成30年度売上目標額を206,000,000円とし、それを上回るよう努力して参ります。

平成30年度販促・宣伝計画(案)

月	企 画	内 容	販促物etc	企画経費	売上目標	備 考
4	宴会プラン	歓送迎会			100万円	
	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行			250万円	
	エージェント誘致				70万円	
5	宴会プラン	新緑	チラシ	8万円	250万円	
	エージェント誘致	クラブツーリズム、JTB、JR			150万円	
	ランチバイキング	GWの期間	ポスター	1万円	150万円	
	山菜朝市	山菜等の朝市開催(G.W.のみ)				
6	宴会プラン	新緑	チラシ	10万円	600万円	
	エージェント誘致	クラブツーリズム、朝日旅行、コロミコ、JR、韓国			100万円	
7	エージェント誘致	JR、朝日旅行、毎日、日本旅行、阪急、クラツ			720万円	
	宴会プラン	新緑	チラシ		350万円	
8	郷土フェア	お盆の期間に郷土芸能の実演	ポスター	20万円		
	生ビール祭り	食事付飲み放題、抽選会等	チラシ	10万円	60万円	
	エージェント誘致	朝日、クラツ、阪急、読売			1,400万円	
	お盆企画	クラツ、JR			500万円	
	ランチバイキング	お盆の期間	チラシ		200万円	
	高校合宿				150万円	
9	宴会プラン	秋プラン			300万円	
	日本生命 ユニオンスクール	応援大使ご紹介 研修会			120万円	
	エージェント誘致	JTB、阪急、クラツ			250万円	
10	秋の宴会プラン(紅葉)	秋の山の味覚プラン(行楽客誘致)	チラシ(秋プラン兼)		600万円	
	きのこ祭り	朝市開催				
	エージェント誘致	JTB・朝日旅行、阪急、JR			300万円	
	由利本荘市アリーナ	由利本荘市アリーナコンサート				
	ランチバイキング	日曜・祝日			80万円	
	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行	優待券			
11	鳥海エリア写真展示		ポスター・ネット	10万円		
	年末優待プラン	年末特別優待券発行	優待券	8万円	150万円	
	忘年会プラン		チラシ(新聞折込)	40万円	300万円	
12	忘年会プラン		チラシ		500万円	
	クリスマスディナーパック	特別メニュー・クリスマス装飾	チラシ(忘年会兼)		100万円	
	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行	優待券		150万円	
	大晦日餅つき大会					
1	お正月イベント	お正月の期間に郷土芸能の実演	ポスター他	11万円		
	新年会プラン		チラシ(忘年会兼)		200万円	
	スキーパック		チラシ(忘年会兼)		100万円	
	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行	優待券		300万円	
2	ぬぐだまりプラン	平日限定連泊プラン			180万円	
	天寿酒蔵開放ツアー			10万円	100万円	
	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行	優待券		300万円	
	冬の宴会プラン				250万円	
3	冬期優待プラン	冬期特別優待券発行			300万円	
	雪上車、モービル体験		ホームページ		50万円	
	ぬぐだまりプラン				100万円	
	歓送迎会プラン		チラシ(忘年会兼)		200万円	

計 128万円 9,980万円

【広告宣伝費】

1、パンフレット印刷代	65万円
2、ホームページ管理費	22万円
3、雑誌広告費	85万円(るるぶ、じゃらん他)
4、新聞広告費	30万円(庄内日報、秋田魁等)
5、テレビ広告費	70万円(映像制作費含む)
6、その他広告費	30万円
広告宣伝費合計	302万円

【販売促進費】

レンタカー代・バック値引き等	753万円
広告宣伝費・販売促進費合計	1,055万円

